

足立区 生きる支援の取り組み ～ゲートキーパーの育成～

気づく

つながる

いのちを守る



足立区

1 きっかけとなった3つの数字

1位

平成18年、区内の自殺者数が東京23区内でワースト1に

1616人

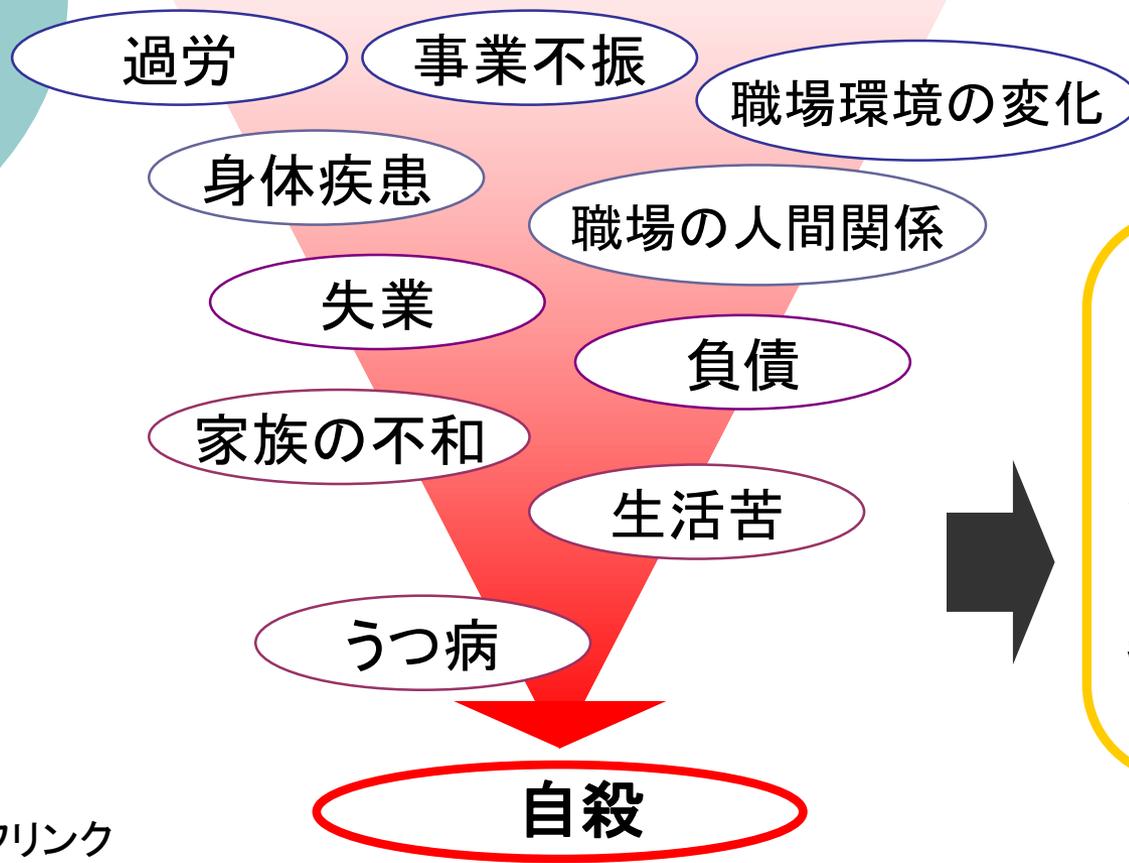
10年間(H10~H19)で自殺で失われた人数。区内の町会が丸々1つ消滅したのに匹敵する数

72%

亡くなる前に約72%の人が何らかの相談機関に訪れていた(ライフリンク自殺の実態1000人調査)

2 都市型モデルの核は連携

平均すると4つの要因が重なり自殺に至る



自殺に至る問題を上流にまでさかのぼって、それぞれの要因を総合的に解決していく必要がある。

そのためには様々な部署・機関が連携し、窓口等での気づきが求められる。

3 人材育成

連携するためには共通認識が必要

ゲートキーパー研修

- ゲートキーパーは、自殺のサインに気づき、見守り、必要に応じて専門機関等へつなぐ役割を担う
- 習熟度や分野により幅のある研修を実施している



GK研修 (初級)

**GKフォロー
研修 (中級)**

**多分野
合同研修
(上級)**

スキル

気づく

つながる

いのちを守る

受講者累計 約12,100人 (職員:約4,600人 区民等※:約7,500人)

※ 民生・児童委員、町会、自治会、士業会、警察、消防など

R4.10現在

4 まとめ

気づく つながる いのちを守る

あなたが気づくことで、救えるいのちがあります。

連携することで、救えるいのちがあります。

「まさか」から「もしや」の視点を

～ **SOS**を受け止め つなぐために ～

- 一人ひとりがゲートキーパーの意識で
- 気づいたらつなぐ
- 連携して いのちを守る

「 顔と顔がつながる連携をめざしましょう 」